仕　様　書

1. 件　　名　放射性同位元素貯蔵庫

2. 数　　量　一式

3. 目　　的　環境動態研究棟（仮称）に放射性同位元素を貯蔵するための貯蔵庫を作成する。

4. 納期期限　平成 26 年 4 月 25 日

5. 納入場所　（独）放射線医学総合研究所　環境動態研究棟（仮称）1 階貯蔵室

6. 仕　　様

1）貯蔵庫

基本設備	外　　寸			2300W×750D×1500H 以内
	総 重 量			6000kg 以内
	構　　造			貯蔵庫及び架台は耐火構造を必要としない
貯蔵庫	外　　寸			2200W×550D×1260H 以内
	貯蔵分庫 仕切り 1 個あたり	仕切り個数		15 個（3 段 5 列）
		内寸		360W×360D×360H
		材質及び厚み	前面、背面、側面	鉛 30.0mm（外側表面　鉄 2.3mm 以上）
			仕切り	鉛 30.0mm
		内面	仕上げ	平面かつ隙間のないもの
			塗装	耐水性及び耐薬品性のあるもの
		外面塗装		劣化しにくいもの
	貯蔵庫扉	個数		15 枚
		材質及び厚み		鉛 30.0mm（外側表面　鉄 2.3mm 以上）
		内面	仕上げ	平面かつ隙間のないもの
			塗装	耐水性及び耐薬品性のあるもの
		外面塗装		劣化しにくいもの
	貯蔵庫鍵	材質		劣化しにくいもの
		鍵の施錠形式		シリンダー同型、鍵は各扉違うもの

	貯蔵庫鍵	個数	15 本
		予備	スペアキーとして各 2 本
架台	寸　　法		2300W×750D×240H 程度 （貯蔵庫を含み、外寸を超えないこと）
	材　　質		貯蔵庫の重量に耐えるもの
	構　　造		貯蔵庫の重量に耐えるもの

（2）その他

1）設置場所は図１のとおりとする。

2）貯蔵庫の仕様イメージ図面は図２によること。

3）転倒防止対策を講じること。

・建築設備機器の耐震クラスＢ相当に耐えること（建築設備耐震設計・施工指針　局部震度法による建築設備機器の設計用標準震度）

・床面及び壁面で固定すること。

・固定する際、内装を取り除いた部位については、結露対策を施し、表面を平面かつ隙間のないものとすること。

・貯蔵室の床面及び壁面の材質は次のとおり。

	仕上げ	下地	壁、スラブ
床面	ビニル床シート t=2.0mm		コンクリート
壁面	NAD（アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り）	約 70mm（石膏ボード t=12.5+9.5mm、空気層、硬質ウレタンフォーム吹付 t=25.0mm）	コンクリート

7.　提出書類

（1）製作前

・工程表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２部（工事３週間前）

・承認図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２部（製作３週間前）

・施工計画書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・２部（工事３週間前）

・搬入･据付計画書・・・・・・・・・・・・・・・２部（工事３週間前）

・作業者名簿 ・・・・・・・・・・・・・・・・・２部（工事３週間前）

・構造、材質等が確認できることができるもの

・・・・・２部（工事３週間前）

（2）製作後

・完成図書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・印刷物　２部（工事後２週間以内）

電子ファイル（PDF）１部

・取扱説明書・・・・・・・・・ ・・・・・印刷物　２部（工事後２週間以内）

（3）その他

・放医研が指示する書類 ・・・・・・・・・ 必要部数

8. 検　　査

工事完了後、当研究所職員が、所定の用件を満たしていることを確認したことをもって、検査合格とする。

9.　その他

（1）本調達品は、運搬、搬入、据付工事等に関わる費用のすべて含むものとする。

（2）請負者は、環境動態研究棟の引き渡し後に現場作業を行うこと。

（3）請負者は、製作期間と工事日程調整を事前に行うこと。

（4）請負者は、図 2 に示す指定した経路から搬入を行うこと。また、放医研所有物等に損害を与える恐れがある箇所ついては、必要な養生を行うこと。

（5）請負者は、工事等に伴って発生した廃材等は、請負業者が持ち帰り適切に処分すること。

（6）請負者は、設置前（着工約 2 週間前）に放医研担当者と協議を行い、搬入・据付計画（材料・機材搬入方法等）を提出すること。

（7）請負者は、搬入・据付計画は、材料・機材が通過できるように、貯蔵室扉及び前室扉の寸法を充分に考慮し作成すること。なお、貯蔵室前室扉及び貯蔵室扉の開口部寸法はいずれも 1200W×2100H である。

（8）請負者は、据付工事等により構造物等を汚損、破損した場合、その修復に関しては、請負業者の責任において行うものとする。

（9）請負者は、据付工事等において作業者に、労働安全衛生法等の関係法令を遵守すること。

（１０）作業者が負った業務上災害は、放医研に起因する災害を除き、放医研は一切責任を負わないものとする。

（１１）請負者は、作業者に対し作業時の安全作業に努めさせ、保安上問題がないよう必要な措置を講じること。

（１２）作業上必要な光熱水料は放医研が負担するものとする。

（１３）請負者は、据付完了後、検査合格から 1 年以内に正常な使用にかかわらず不具合が生じた際、　無償で納品物品の修理、交換等必要な措置をとること。

（１４）請負者は、本仕様書に記載のない事項及び変更事項については放医研担当者と協議の上決定するものとする。

以上

（要求者）

部課（室）名：研究基盤センター　安全・施設部　放射線安全課

氏　　名：松 田　拓 哉

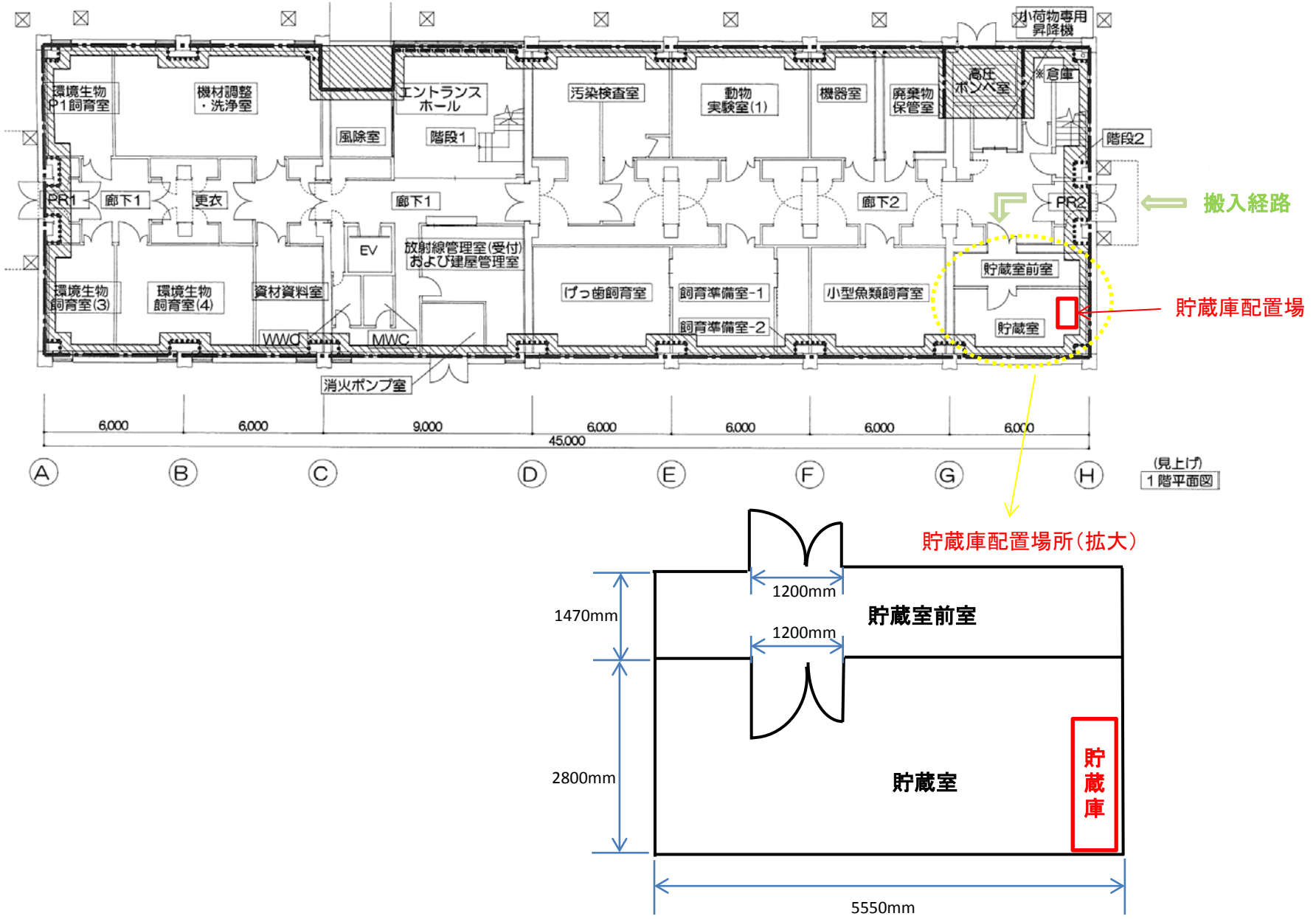

図1　環境動態研究施設(仮称)貯蔵庫配置図

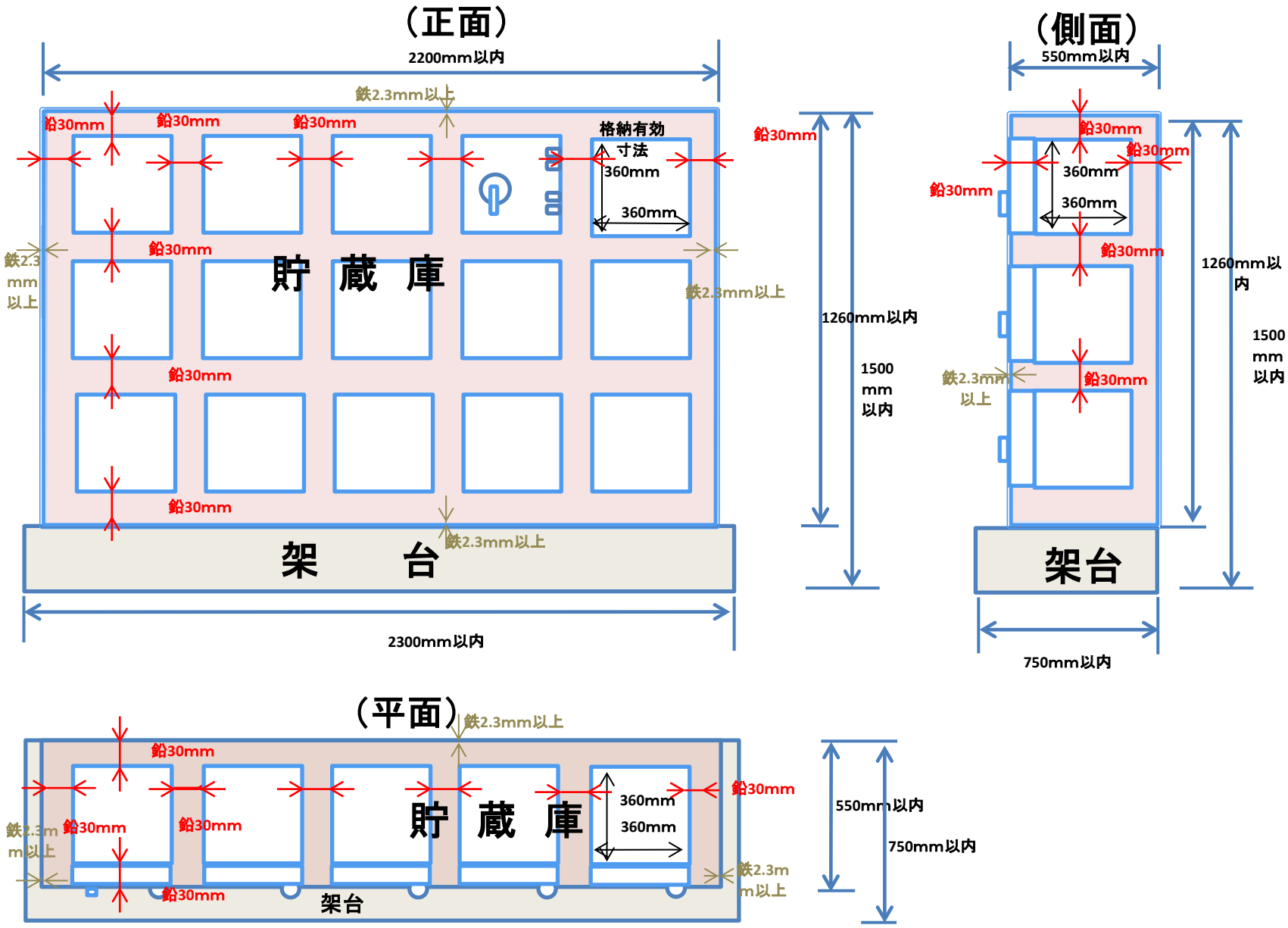

図2　環境動態研究施設（仮称）貯蔵庫　イメージ